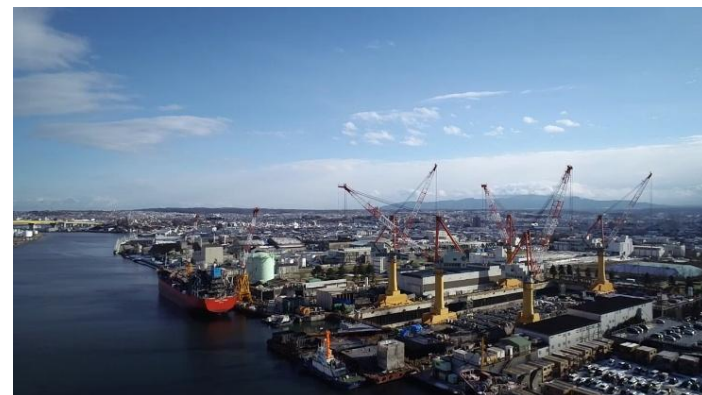


北日本造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- ケミカルタンカーや冷蔵運搬船を主力とする造船会社として、高度な設計力と品質管理体制を強みに事業を展開。設計から建造まで一貫体制を構築し、八戸・久慈の両拠点で安定した生産基盤を確立している。
- 国際環境規制の強化や人手不足、資機材価格高騰など事業環境が大きく変化する中、環境対応型高付加価値船への転換と、生産性向上を両立する持続可能な生産体制の確立を目指す。



計画の概要

- 国際的な環境規制強化を踏まえ、メタノール・アンモニアを燃料とする二元燃料船の開発・建造を推進する。また、同社が実績を有するゲートラダーや風力推進装置等を組み合わせることにより、環境負荷低減と燃費性能向上を両立した高付加価値船の展開を図る。
- スtockヤード拡張や協働ロボット導入等の設備投資を実施し、生産方式の高度化・省人化を推進することで、環境対応型船舶への転換と生産性向上の両立を実現する。



<計画実施期間> 2026年4月～2031年3月

<実施場所> 北日本造船(株)本社工場・豊洲工場・北沼工場(青森県八戸市) ケミカルタンカー
久慈工場(岩手県久慈市)

厚板プレス工業(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1973年創業。最大4,100トン級の大型厚板プレス機5台を使用して、様々な金属の特殊形状曲げ加工を手掛けてきた。
- 板厚2mm～200mmまでの幅広い施工実績があり、業種業界を問わず、1品物といわれる少量多品種を対象に金属の3次元形状を作り出している。この他、組立や溶接も得意としており、完成品製造の一气通貫体制を構築している。
- また、アンモニア・水素・LNG燃料向けの船用タンクに使用される中型(直径10m程度)の鏡板製造を手掛ける国内有数のタンクメーカーである。



計画の概要

- 船舶の脱炭素化に対するニーズの高まりを踏まえ、新たにアンモニア・水素・LNG燃料向けの大型(直径15～20m)の鏡板製造に取り組む。
- 具体的には、大型天井クレーンを備えた組立溶接建屋と大型厚板プレス機を備えたプレス建屋を新設することにより、新燃料向けタンクで用いられる大型鏡板の生産能力を大幅に向上させる。
- これにより、バルカー16隻相当の大型鏡板の安定供給体制を構築し、造船・海運事業者のニーズに応えるとともに、燃料タンク国産化に貢献していく。

<計画実施期間> 2026年4月～2030年3月

<実施場所> 厚板プレス工業(株)あわじ工場(兵庫県あわじ市)

